

都民ファーストの会 中野区政改革委員、つながる中野代表

大沢ひろゆき

おおさわ ひろゆき

さんを紹介します。

中野一の世話好き男
一人のつながりで
あなたを笑顔にします

小池百合子が応援しています。

実直に人に寄り添う政治を
実現できる人材です。

プロフィール 1962年10月8日生まれ/中野区松が丘在住/O型/てんびん座

妻 娘1人(医師) 淀橋第六小学校、開成中学校、開成高校を経て早稲田大学政治経済学部政治学科卒業 1986年国際電信電話株式会社(現KDDI株式会社)入社 主にJCOMなどケーブルテレビ事業に従事。36年間のうち20年間を子会社役員として務める。

※ 本号では、区政改革委員に就任した 大沢ひろゆきさんに質問しました。



大沢さんは、なぜ区政を目指しているのですか?

大きくいうと2つの理由があります。ひとつめは、42名いる中野区議会議員のなかに会社員を務めあげた議員が1人くらいはいるべきだと考えたこと。ふたつめは、中野区において地域と関わりのある暮らしをしている方がとても少ないことを知り、その改善のために身をささげたいと考えたことです。



大沢さんは中野をどんなまちにしたいですか?

私は、中野を人と人がつながるまちにしたいです。



なぜ中野を「人と人がつながるまち」にしたいと思うのですか?

中野には、桜まつり、中野駅前大盆踊り大会、チャンブルーフェスタ、なかの東北応援まつり(ねぶた巡行)、にぎわいフェスタなどのイベントや350以上の趣味やボランティアのサークルもあり、人と人がつながる機会はたくさんあります。しかし、実際には、住民同士の交流の場があると答えている方は、20~30代で2割、40~60代で3割、70代以上でも4割に過ぎません。



私は10年間代表として活動が続けてきた「つながる中野」を通じて人のつながりにより問題が解決されるさまを、また8年にわたり管理人を勤めているFacebookグループ「中野ファン」を通して、情報により地域の名店や風景に出会い、中野をもっと好きになっていくさまを見てきました。その経験からもっと人の輪が広がるまちを創っていきたくて思ったからです。



「つながるまち中野」をどのように実現するのでしょうか?

DX化を含めた中野区内の情報交換の強化と集まる場づくりの拡大によって、人と人、人とサービスがつながりやすくなる仕組みをつくりまします。

中野区情報共有SNSを立ち上げます。

中野区に関わる地域団体、商店、飲食店、企業、個人が自由に情報をあげ、共有することができるSNSをつくりまします。より幅広い層に生活に役立つ情報からイベント情報まで多くの情報が区民にいきわたるようになります。更新情報はプッシュ通知で利用者に届くため、耳よりな情報を逃しません。

みんなが集まれるスペースを拡充します。

趣味を楽しむ場所、地域・ボランティア活動の場所、話し合いの場所、悩み相談の場所、出会いの場所など、それらの場所を作り、整備し、中野区内の人と人のつながりを活性化します。



ひとこと

知ればもっと中野のまちが楽しく、便利に、好きになります。知ることで、人と情報、人と人、人とまちがつながること。これが私の区政改革の第一歩です。

大沢ひろゆきの中野での10年

「つながる中野」の代表として、中野での10年間の地域活動で多くのつながりを培ってきました。

1 つながる中野を主催

99回開催 中野通りの桜へのお礼肥えなど



2 第一回中野区検定2位

1位は現区長の酒井直人さん



3 中野区観光協会での活動

明治大学での名店弁当販売など



4 中野の逸品グランプリ全200店舗食べ歩き



5 酒井直人中野区長の初当選、再選に貢献



6 Facebook中野ファン管理人

会員数16,000人



ともに創る明日の中野の会

住 所 : 中野区中野3-34-23 辻ビル4階
電 話 : 080-5359-2411
Mail : hi-oosawa@nifty.com
HP : <https://tomonitsukuru.org>



都民ファースト PRESS

<https://tomin1st.jp> (都民ファースト) 掲載

発行元 都民ファーストの会

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話: 03-5320-7272 FAX: 03-5388-1901

都政・区政・政策についてのご意見・ご要望をお聞かせください



都民ファーストの会が5年間で実現

提案・実現

区民の^{🗣️}声を「カタチ」にする！

介護人材の確保！ 離職を無くす

職員宿舍借り上げを
大幅拡大実現

- 希望する全施設が対象に
- 障がい児者用施設やサービスも対象に

東京独自の処遇改善事業を新設
インターン確保、マッチング、就労へ

- 1,000人の新規介護職員を生み出す
施策がスタート



「赤ちゃん ファースト」 さらにパワーアップ！

子ども誕生の家庭に10万円分の
出産応援事業

- 令和4年度の事業継続
- 500点以上のオンライン商品カタログから
それぞれの家庭に必要なものを選べる

新たに家事時短の
「デジタル家電」を要望し追加へ



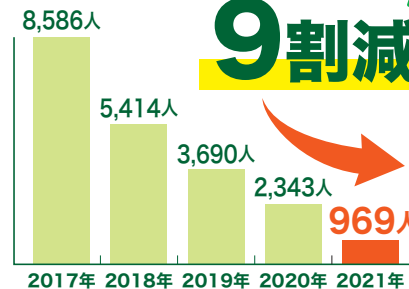
経済的な理由による
教育格差がない社会へ

受験生への 塾代支援 対象を大幅拡大へ！

- 「受験生チャレンジ支援貸付事業」の
対象を拡大
- 中3・高3、中途退学者の再チャレンジを応援
- 塾代や受験料を負担
- 入学した場合は返済免除



待機児童4年間で 9割減



26自治体で待機児童ゼロ達成

私たちが、区民の声をカタチにします！

地域と関わりのある暮らし

中野区で生活する方一人ひとりが地域とかかわりがある暮らしを自然としていくような仕組みを創ります。

1 情報格差ゼロ

- ①個人、団体、商店等が自由に情報を共有するSNS
- ②スマホ教室の実施 など

2 集まりの場づくり

趣味やボランティア活動といった、出会いや相談の場所を地域毎に整備し、人と人のつながりを活性化

3 商店街の活性化

- ①後継者難を解消するためのマッチングデータベース
- ②都と連携した利子補填による工事費用の貸付など、店舗と居住スペースを分離する施策

4 大規模公園の整備

区立学校の統廃合等の跡地利用を視野にいた大規模公園の整備



一人ひとりにやさしいまちへ

子どものみならず困った人にやさしいまちは、そうではないひとにもやさしいまちになると考えています。

1 一人ひとりに寄り添った教育

ICTの有効活用、一人ひとりの学習状況に応じた習熟度別少人数指導など

2 子どもの貧困対策の強化

- ①学習機会の確保
- ②自然や地域社会に接する機会の優先確保
- ③子育て家庭の食と日常生活の支援 など

3 困ったひとにやさしいまち

- ①認知症のある人とその家族を支える環境づくり
- ②生活困窮者の自立支援
- ③ヤングケアラー支援
- ④介護人材の確保
- ⑤人権と多様性の尊重

再開発で より住みやすいまちへ

中野区は再開発ラッシュ。区役所も2024年春に新庁舎へ移転します。中野区の今後を左右する重要な時期です。

1 西武新宿線立体交差事業の活用

線路敷跡地の有効な活用方法につき、地域住民の意見を集約し、西武鉄道、東京都との協議を推進

2 中野駅周辺におけるエリアマネジメント推進

都市開発事業の全体最適を目指す官（行政）民（民間）校（学校）金（金融機関）一体となった取り組みを進める

3 オール中野による創業・経営支援

官（行政）民（民間）校（学校）金（金融機関）一体で、新たに産業振興センター（仮称）を立ち上げ

4 脱炭素社会の推進

- ①住宅への蓄電システムの導入支援、断熱窓やドアへの補助金
- ②区有設備を環境負荷の少ない電力へ契約切替
- ③区有車を環境負荷の少ない車に切り替え

中野区第一支部長の
荒木ちはるさんより、
メッセージを
いただきました！



大沢ひろゆきさんとは、私が最初に
都議会議員選挙に中野区選挙区から
挑戦した2017年に知り合いました。
以来、地域を良くしたい、人と人を
つなげたいとの想いに共感しています。
皆さま何とぞよろしくお願いいたします。